ONETOUCH Verio Reflect™

自己検査用グルコース測定器

取扱説明書

ONETOUCH

Verio Reflect™

自己検査用グルコース測定器

取扱説明書

ワンタッチベリオリフレクト™自己検査用グルコース測定器をお選びいただきありがとうございます。

ワンタッチベリオリフレクト™は、ソフトウェアアプリケーションで動作する各種ワイヤレス機器に接続（同期）するように設計されています。OneTouch Reveal®モバイルアプリをお使いの測定器に接続することで、測定値の表示、グラフ化、毎日の測定目標の設定、血糖測定サポーターからのメッセージの表示、血糖値パターンの識別などが行えます。測定値とその他の記録データは、互換性のあるデバイスにBLUETOOTH®（ワイヤレス）またはUSBケーブルのいずれかを介して送信されます。

特定保守管理医療機器

血糖自己測定器（自己検査用グルコース測定器）は特定保守管理医療機器です。特定保守管理医療機器とは、適正な管理が行わなければ重大な影響が出るおそれがあるものとして、厚生労働大臣により指定されたものと法に定められています。

医療機関には、特定保守管理医療機器の保守点検に関する計画の策定やその実施が義務付けられています。ご使用にあたっては、医療機関の指導に基づき、日常点検など適正な使用をお願いします。

本製品は、血糖値測定と糖尿病管理に役立つように設計されています。

この取扱説明書には測定器の使用方法と測定に必要な製品の説明、血糖測定方法、ならびに注意事項が記載されています。この取扱説明書は、大切に保管しておいてください。

測定器の記号とアイコン

血糖値指標アイコンとカラーバー

目標範囲未満の測定値

目標範囲の下限の測定値

目標範囲のほぼ中間の測定値

目標範囲の中間の測定値

目標範囲のほぼ中間の測定値

目標範囲の上限の測定値

目標範囲を超える測定値

範囲内の測定値（テキスト）

食事とイベントマーク

食前マーク

食後マーク

イベントマーク

糖質イベントマーク

ストレスイベントマーク

病気イベントマーク

薬イベントマーク

運動イベントマーク

パターン、目標測定回数、メダル

低めパターンのメッセージ（青のアイコン）

高めパターンのメッセージ（赤のアイコン）

目標測定回数アイコン（測定済）

目標測定回数アイコン（未測定）

金メダル

銀メダル

銅メダル

メインメニューと設定メニューアイコン

ふりかえり

測定記録

90日トレンド

設定メニュー

血糖値指標アイコン 絵文字

血糖値指標アイコン テキスト

その他の測定器アイコン

BLUETOOTH® 機能

同期

コントロールテストの結果

電池残量少

進捗状況を点で示す画面
ナビゲーション

その他の記号とアイコン

注意と警告：安全関連情報は、取扱説明書と添付文書、ならびに付属品の取扱説明書と添付文書を参照してください。

直流（DC）

ご使用になる前に

本製品で血糖値を測定する前に、本製品の取扱説明書・添付文書、ならびに併用する穿刺器具、ワンタッチベリオ® センサーおよびワンタッチベリオ® センサー専用コントロール溶液の添付文書または取扱説明書をお読みください。

安全に関する重要なお知らせ：

- 血液に曝露した使用済みのすべての製品は生物学的に有害であるとみなされます。使用済みのキットは、洗浄、消毒した後も、感染症を伝染させる可能性があります。

本製品の使用目的

ワンタッチベリオリフレクト™自己検査用グルコース測定器は、糖尿病管理の補助として、糖尿病患者の指先から採取された新鮮な毛細管全血のグルコース（糖）の患者自身による定量的測定を目的としています。医療従事者は静脈全血を検体として使用することも可能です。

ワンタッチベリオリフレクト™ は、血糖値パターンの分析、傾向の記録、およびアドバイス（教育的、行動的、動機付けのメッセージ）を提供し、血糖値を理解しその管理を助け、目標範囲を上回る／下回る数値の検出に役立ちます。また測定器は、糖尿病の自己管理を支援するために、互換性のある糖尿病アプリケーションとのワイヤレス通信によって、血糖値データと情報の取得、転送、分析が可能です。

ワンタッチベリオリフレクト™は、医師のアドバイスの代わりにはなりません。また、糖尿病の診断やスクリーニング、新生児用には使用しないでください。

ワンタッチベリオリフレクト™が「ベーシックモード」に設定されている際、糖尿病管理プログラムの効果を医師が監視する一助として複数患者測定にも使用することができます。本製品は救急現場における使用に適していません。

測定原理

センサー上で血液中のグルコースが酵素 FAD-GDH（146ページ参照）と混合することで、微量の電流が生成されます。この電流の強さにより、血糖値が計算されます。次に血糖値が表示され、測定器のメモリに保存されます。

ワンタッチベリオ®センサー専用コントロール溶液とセンサーだけをワンタッチベリオリフレクト™には使用してください。ワンタッチベリオ®センサーを用途以外の測定器で使用すると、正確な測定値が得られない場合があります。

禁止事項

本製品を糖尿病の診断に使用しないでください。本製品は糖尿病の診断用ではありません。

測定結果により糖尿病治療を中断・変更しないでください。糖尿病の診断は医師が臨床的な症状や他の検査結果とあわせ、総合的に判断してください。本製品は血糖管理の有効性をモニタリングする補助として使用してください。

糖尿病治療や血糖測定は必ず医師の指導と管理のもとで行ってください。測定結果により、自己判断で糖尿病治療を中断したり変更したりしないでください。

本製品を新生児の血糖測定に使用しないでください。新生児は本品の動作保証範囲外のヘマトクリット値を示す場合があり、適正な測定値が得られない可能性があります。

血糖測定サポーター（役立つヒント、パターンメッセージおよびメダル）およびダイナミック血糖値指標の表示により患者の自己判断で糖尿病治療などを中断・変更しないでください。これらの表示は、医師により設定された値に基づき、測定結果が設定した血糖目標範囲の範囲内または範囲外であるか、過去の測定結果から得られた傾向または血糖管理に関するアドバイスなどを示すものであり、患者の自己判断や診断を行うものではありません。

複数患者に本品を使用する場合は、機能設定の画面で、ベーシックモードを必ず「オン」にし、血糖測定サポーター（役立つヒント、パターンメッセージおよびメダル）を使用しないでください。血糖測定サポーターの表示は個人の過去の測定結果から得られた傾向、または個人の測定結果等に基づく血糖管理に関するアドバイスなどを表示するものであり、複数患者に使用することを意図したものではありません。

警告:
測定単位がmg/dLと表示されていることを確認してください。測定単位がmmol/Lで表示されている場合は、使用を中止し、ワンタッチコールセンターまでご連絡ください。不適切な測定単位のまま使用すると、血糖値の解釈を誤り、不適切な治療に結びつくおそれがあります。ワンタッチコールセンターの連絡先情報は、この取扱説明書の最後に記載されています。

初めに測定器に表示される画面が、30ページのスタート画面の図と一 致していることを確認してください。正しい画面が表示されない場合、測定器に問題がある可能性があります。

実際の血糖値より高値を示すことがあるので、以下の患者には使用しないでください。[その偽高値に基づきインスリン等の血糖降下剤を投与することにより、昏睡等の重篤な低血糖症状が現れるおそれがあります。]

- キシロース吸収試験を実施中の患者。

プラリドキシムヨウ化メチルを投与中の患者では、実際の血糖値より高値を示すおそれがあるため、プラリドキシムヨウ化メチルを投与中の患者における血糖測定値に対する影響について、事前に製造販売業者から情報を入手してください。[プラリドキシムヨウ化メチルを投与中の患者で、実際の血糖値よりも高値を示すことがあり、その偽高値に基づきインスリン等の血糖降下剤を投与することにより、昏睡等の重篤な低血糖症状が現れるおそれがあります。]

注意：
本製品は注意してお取扱いください。測定器を落としたり、衝撃を与えたりしないでください。

BLUETOOTH® ワイヤレス技術

BLUETOOTH®ワイヤレス技術は、一部のスマートフォンや数多くのその他のデバイスで使用されています。お使いのワンタッチベリオリフレクト™ 測定器は、BLUETOOTH® ワイヤレス技術を使用して互換性のあるワイヤレスデバイスと接続し、血糖値データを送信します。

ワンタッチベリオリフレクト™ は、OneTouch Reveal®モバイルアプリとともに動作するように設計されています。

注： OneTouch Reveal®モバイルアプリはお使いいただけない場合があります。使用可能か否かについてwww.OneTouch.jpでご確認いただけます。

www.OneTouch.jpで、お使いのワンタッチベリオリフレクト™ 測定器に互換性のあるワイヤレスデバイスに関する情報、およびソフトウェアをダウンロードできる場所とその方法についてご確認ください。

OneTouch Reveal®モバイルアプリとのペアリング方法は、100ページをご覧ください。

お使いの測定器は、適用される世界中の電波に関する規制とガイドラインの対象となり、それに準拠します。一般に、これらの規則により、機器の操作には2つの条件が規定されています：

1. この機器が有害な干渉を引き起こさないこと。
2. この機器が、望ましくない操作の原因となる可能性のある干渉を含め、受信した干渉を受け入れること。

これらのガイドライン等は、近くにある他の電子機器の動作に測定器が影響を与えないようにするのに役立ちます。また、他の電子機器がお使いの測定器の使用に影響を与えるべきではありません。

測定器で干渉の問題が発生した場合は、測定器を干渉源から離してください。電子機器またはそのアンテナを別の場所に移動させると問題が解決することもあります。

⚠**注意：**病院、診療所、航空機内など携帯電話の使用が許可されていない場所ではBLUETOOTH®機能をオフにしてください。詳細情報は、96ページをご覧ください。

BLUETOOTH® 商標

BLUETOOTH®のワードマーク、およびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、LifeScan Scotland Ltd.によるこのマークの任意の使用は、ライセンスの下に行われています。その他商標および商号は各所有者が所有しています。

目次

1 測定器の概要 20
2 システムの設定 30
3 測定の実施 34
血糖測定 34
コントロールテストの実施 55
4 測定結果にマークを付ける 66
5 メッセージについて 72
6 ふりかえり、測定記録、および90日トレンド 84
7 測定器の同期 96
8 測定器の設定の調整 108
9 システムのお手入れ 122
10 電池 128
11 トラブルシューティング 132
12 システム情報 142
13 索引 152

1 測定器の概要

ワンタッチベリオリフレクト™自己検査用グルコース測定器

箱に含まれるもの：

ワンタッチベリオリフレクト™
測定器（2個の CR2032
リチウムボタン電池が付属します）

注： キット内の構成品に不足または欠陥がある場合は、ワンタッチコールセンターにご連絡ください。ワンタッチコールセンターの連絡先情報は、この取扱説明書の最後に記載されています。

別途必要なもの：

以下の画像の製品と穿刺器具およびランセット（針）が必要になります*。

これらは別売りとなります。箱に含まれる構成品については、測定器の箱をご覧ください。

ワンタッチベリオ®
センサー専用コントロール溶液（中濃度）*

ワンタッチベリオ®
センサー*

*ワンタッチベリオ®センサー専用コントロール溶液、センサー、穿刺器具およびランセット（針）は別途入手可能です。これらをご希望の場合は、ワンタッチコールセンター、薬剤師、または医師にご相談ください。

⚠警告:
測定器と関連品はお子様の手の届かないところに保管してください。電池カバー、電池、センサー、ランセット（針）、ランセットの保護キャップ、コントロール溶液の容器のキャップなど、小さな部品は喉をつまらせ、窒息させる危険があります。これらの部品を**口に入れたり飲みこんだりしないでください**。

ワンタッチベリオリフレクト™ 自己検査用グルコース測定器について

測定器

1	**センサー挿入口** センサーを挿入すると、測定器の電源が入ります
2	**電池アイコン** 電池の残量が低下したときに限り表示されます
3	測定単位はあらかじめ設定されており変更できません
4	**マイクロUSBデータポート** コンピュータに接続してダウンロードします
5	**OKボタン** • 測定器の電源の入／切をします（長押し） • 選択したメニューの確定
6	**戻るボタン** • 前の画面に戻ります（押して離す） • 食事マークの変更、またはイベントマークの追加に使用できます
7	**上ボタン・下ボタン** • 項目や値を選択、変更します • スクロールの速度を上げます（長押し）
8	**カラーバー**
9	**血糖値指標アイコン**
10	**目標測定回数アイコン**

⚠**警告:** 測定単位mg/dLが表示されていることを確認します。画面にmg/dLではなく、mmol/Lが表示されている場合は、測定器の使用を停止してワンタッチコールセンターにご連絡ください。

ワンタッチベリオ®センサーについて

センサー

11	**血液を点着する血液吸引部分**
12	**銀色のコンタクトバー** センサー挿入口(❶)に挿入

機能の概要

ワンタッチベリオリフレクト™ には、様々な方法で血糖値を管理するための機能が搭載されています。これらの機能が、日々の糖尿病管理の一部として活用されることを期待しています。

血糖測定サポーター（Blood Sugar Mentor™）からのメッセージ

血糖測定サポーターは、現在と過去のグルコース測定結果とその他の記録データを基にした励ましのメッセージを含む、あなたの現在の状況に関する気づき、糖尿病管理のアドバイスを提供します。

血糖測定結果を受け取ると、測定器は役立つヒント、パターンメッセージ、またはメダルを表示する場合があります。

血糖測定サポーターからのメッセージの例

パターンメッセージ

役立つヒント

メダル

ColorSure® ダイナミック血糖値指標（以下、血糖値指標）

血糖値指標は、現在の測定結果を目標範囲の下（青）、目標範囲内（緑）または目標範囲の上（赤）で即座に知らせます。また、測定結果が目標範囲の上限または下限に近いときにも表示します。

目標測定回数

目標測定回数は、毎日の血糖値測定の実施回数を設定し、目標達成に向かって進捗状況を自動記録します。

90日トレンド

90日トレンドは、目標となる90日間の平均血糖値を設定し、その目標への進捗状況を記録できます。平均値のグラフは2週間ごとに自動で更新され、長期的で全般的なグルコース管理の傾向を表示します。

測定器の設定

測定器の電源を入れる

測定器の電源を入れるには、『ようこそ』画面が表示されるまで(OK)を長押しします。『ようこそ』画面が表示されたら、(OK)を離します。または、センサーを挿入することで、測定器の電源が入ります。

測定器の電源を入れるたびに、『ようこそ』画面が数秒間表示されます。

測定器の電源が入らない場合は、電池を確認してください。128ページを参照してください。

⚠警告：

初めに測定器に表示される画面が、スタート画面と同じであるか確認してください。正しい画面が表示されない場合、測定器に問題がある可能性があります。ワンタッチコールセンターの連絡先情報は、この取扱説明書の最後に記載されています。

スタート画面の一例

センサーを挿入して測定器の電源を入れた場合は、『**血液をつける**』画面が表示されます。血糖測定を行うには、34ページをご覧ください。

測定器の電源を入れると自動的にバックライトが点灯します。しばらく使用しない場合は、バックライトは薄暗くなります。その場合は、いずれかのボタンを押すとバックライトが再度点灯します。もしくは、センサーを挿入するとバックライトが再度点灯します。

ベーシックモードについて

測定器には、糖尿病管理の進捗状況を記録するのに役立つ多くの機能が備わっています。このような機能を使わないで測定器を使用したい場合は、ベーシックモードでこれらの機能をオフにできます。医療機関における複数患者用設定に不向きな機能を無効にするには、ベーシックモードを医師が選択してください。

- ベーシックモードが選択されているときは、目標測定回数、食事とイベントのマーク付け、食前と食後の平均値、90日トレンド、パターンメッセージ、役立つヒント、メダルの機能はオフになります。
- ベーシックモードでは、ベーシックモード用目標血糖範囲が設定可能であり、食前・食後の目標範囲値は異なります。（115ページ参照。）
- 血糖値指標アイコンは、テキスト（例えば 範囲内 ）で表示され、絵文字（例えば ）では表示されません。ベーシックモードをオン／オフにする方法については、116ページをご覧ください。
- ベーシックモードは初期設定では「オフ」になっています。
- 医師は使用環境に応じた正しい設定になっていることを使用前に確認してください。

測定器の電源を切る

測定器の電源を切るには3つの方法があります：

- 電源が切れるまでOKを数秒間長押しします。
  または
- 測定器を2分間使用しないときは電源が自動的に切れます。
  または
- センサーを取り外します。

血糖測定

血糖測定の準備

注: 初めて測定する場合には、コントロール溶液を用いて練習することをお勧めします。57ページを参照してください。

測定時に準備するもの:

ワンタッチベリオリフレクト™
ワンタッチベリオ®センサー
穿刺器具
滅菌済ランセット(針)

注意:

- 本品専用のセンサー(ワンタッチベリオ®センサー)を必ず使用してください。
- 本製品はコード番号の設定は必要ありません。
- 動作温度範囲(6〜44℃)で測定を行ってください。
- 測定器やセンサー、コントロール溶液がそれぞれ異なる温度環境下で保管されていた場合、室温に置き、しばらくたってから測定してください。
- 直射日光、高温多湿を避け30℃以下で保存してください。冷蔵庫や冷凍庫では保管しないでください。
- 測定器が結露した場合は**測定をしないでください**。測定器とセンサーを高温多湿を避けた場所に移し、測定器の表面を乾燥させてから測定してください。

- センサーを取り出し測定をする準備ができるまで、センサーの容器を**開けないでください**。容器から取り出したセンサーは、**ただちに**使用してください。
- センサーの汚染や劣化を防ぐため、使用後はただちにセンサー容器のキャップをしっかりと閉めてください。
- 未使用のセンサーは開封時に入っていた容器に入れたまま保管してください。
- 測定後、使用済みのセンサーを容器に**戻さないでください**。
- 血液やコントロール溶液、またはその他の汚染物が付着したセンサーを**再使用しないでください**。センサーは1回限り使用可能です。
- 清潔で乾燥した手でセンサーを容器から取り出してください。センサーを曲げたり、切ったり、改造することは**一切行わないでください**。
- センサーの容器を初めて開封するときは、容器ラベルに処分日を記載してください。処分日の決定方法は、センサーの添付文書および容器ラベルをご参照ください。

注:本測定器で実施した血糖測定結果を別の測定器で得られた測定結果と比較することは推奨していません。

測定結果は測定器によって異なる可能性があり、測定器が適正に作動しているかどうかの指標として有用なものではありません。測定器の正確さを確認するには、本測定器の測定結果と検査室結果とを比較する必要があります。詳細な情報は142ページを参照してください。

重要: 他の人に測定を手伝ってもらう場合は、その人が測定器を使用する前に、測定器を常に清潔にしてください。122ページを参照してください。

警告:

- 測定単位がmg/dLと表示されていることを確認してください。測定単位がmg/dLではなくmmol/Lで表示されている場合は、使用を中止し、ワンタッチコールセンターまでご連絡ください。

⚠警告:

実際の血糖値より高値を示すことがあるので、以下の患者には使用しないでください。[その偽高値に基づきインスリン等の血糖降下剤を投与することにより、昏睡等の重篤な低血糖症状が現れるおそれがあります。]

- キシロース吸収試験を実施中の患者。

プラリドキシムヨウ化メチルを投与中の患者において、実際の血糖値より高値を示すおそれがあるので、プラリドキシムヨウ化メチルを投与中の患者における血糖測定値に対する影響について、事前に製造販売業者から情報を入手してください。

[プラリドキシムヨウ化メチルを投与中の患者で、実際の血糖値よりも高値を示すことがあり、その偽高値に基づきインスリン等の血糖降下剤を投与することにより、昏睡等の重篤な低血糖症状が現れるおそれがあります。]

注意：

- センサーの容器に損傷がある場合や、容器のキャップが開いたままになっていた場合は、その容器に入っていたセンサーは**使用しないでください**。このようなセンサーを使用すると、エラーメッセージが表示されたり、測定結果が不正確になるおそれがあります。センサーの容器に損傷があった場合、ただちにワンタッチコールセンターまでご連絡ください。
- 測定器やご使用の関連品に問題があって測定を行うことができない場合は、医療従事者またはワンタッチコールセンターにお問い合わせください。測定を行うことができないことにより治療の判断が遅れ、深刻な病状を招くおそれがあります。ワンタッチコールセンターの連絡先情報は、この取扱説明書の最後に記載されています。
- センサーの容器には乾燥剤が入っており、これを吸ったり飲み込んだりすると有害です。また皮膚や眼が刺激されるおそれがあります。
- センサーの容器に印字されている使用期限または処分日を過ぎたセンサーを使用すると正確な測定結果を得られませんので、使用期限または処分日のいずれかが過ぎたものは**使用しないでください**。

ワンタッチベリオリフレクト™で複数患者に対して血糖測定を実施することができるのは、医療機関における医療従事者のみです。測定器使用時には、院内感染を防ぐために必ず医療機関で定められたガイドライン等に従ってください。

注:

本製品は指先以外の部位での測定（Alternate Site Testing：AST）について評価されていません。本製品を使って測定を行う場合は、指先のみを使用してください。

穿刺器具およびランセット（針）の使用方法については、お使いになる穿刺器具およびランセット（針）の添付文書および取扱説明書をご参照ください。

注意:

- アルコール綿で穿刺する部位を消毒した場合は、完全に乾かしてください。[自己検査用グルコース測定器による測定値は、アルコールにて消毒後、皮膚が乾かない状態で穿刺した場合、完全に乾燥した後に穿刺した場合と比べて低くなったとの報告があります。]
- 果物等の糖分を含む食品などに触れた後、そのまま指先から採血すると指先に付着した糖分が血液と混じり、血糖値が偽高値となるおそれがあります。[アルコール綿による消毒のみでは糖分の除去が不十分との報告があります。]

- 以下のような末梢血流が減少した患者の指先から採血した場合は、血糖値が偽低値を示すことがあるため、静脈血等他の部位から採血した血液を用いて測定してください。
  - 脱水状態
  - ショック状態
  - 末梢循環障害

穿刺においての注意事項

⚠注意：

血液を介した感染症・疾患を防ぐために：

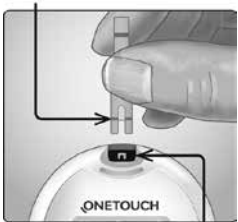
- 穿刺の前に、穿刺箇所を石鹸とぬるま湯で洗い、すすいで乾かします。
- 測定の際は常に新しい、滅菌済みのランセットを使用してください。
- 測定器と穿刺器具を常に清潔に保ってください。（122ページを参照してください。）
- 血液に曝露した使用済みのすべての製品は生物学的に有害であるとみなされます。使用済みのキットは、洗浄、消毒した後も、感染症を伝染させる可能性があります。

測定器の準備

1. センサーを挿入して測定器をオンにする

センサーのゴールド側と2つの銀色のコンタクトバーを自分の方に向けて、センサーをセンサー挿入口に挿入します。

銀色のコンタクトバー



センサー挿入口

注： 本製品ではコード番号を設定する必要はありません。

『**血液をつける**』画面が画面に表示されます。ここで、センサーに血液をつけることができます。

指先から採血する

測定ごとに穿刺部位を変えてください。同じ部位に何回も穿刺すると、痛みを感じたり、たこができることがあります。

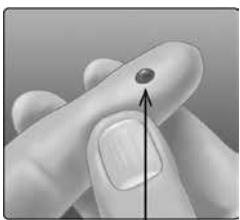
測定の前に、手をぬるま湯と石鹸でよく洗います。すすいで、完全に乾かします。

1. 指からの採血

指の側面で穿刺器具をしっかり固定します。穿刺ボタンを押します。

2. ドーム型の血液を1滴採取

指先で血液がドーム型になるまで、指先を優しく絞るかマッサージします。



およそのサイズ

注：
広がったり流れ出した血液は**使わないでください**。その場合は、穿刺部位を拭いてからもう一度血液を軽くしぼり出すか、または別の部位で穿刺をやり直してください。

血液をつけ、測定値を確認します

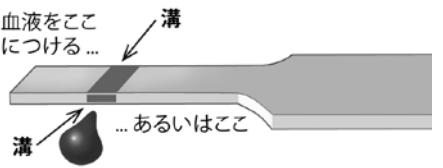
血液をつける

1. 血液をセンサーにつけます

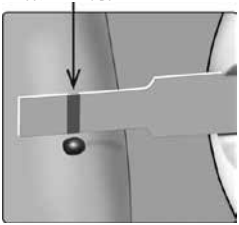
血液をつけるのはセンサーの左右どちら側でも構いません。

センサーの血液吸引部分（細い溝）に血液をそっとつけます。

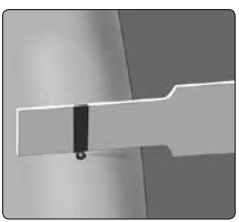
血液を出した直後にセンサーをつけるようにしてください。



測定器を少し傾けて持ち、血液吸引部分（細い溝）を血液に近づけます。



血液吸引部分（細い溝）に血液が触れると、血液が吸引されます。

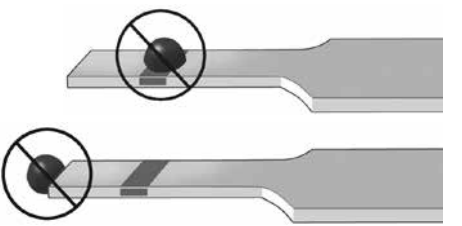


2. 血液が血液吸引部分（細い溝）に完全に吸い込まれるのを待ちます

血液が細い血液吸引部分（細い溝）に吸引されます。血液吸引部分を完全に血液で満たすようにします。

血液吸引部分（細い溝）が血液で染まると、測定結果が約5秒後に表示されます。

センサーの上部、またはセンサーの上端に**血液をつけないでください**。



注：

- センサーで血液を**こすらないようにしてください。**
- センサーを穿刺部位に過度に**押し付けないでください。**血液吸引部分に血液が適切に点着できなくなる場合があります。
- 一度血液から離したセンサーには、**血液を二度づけしないでください。**
- 測定中、またはエラーメッセージが表示された時に、測定器の中のセンサーを**動かさないでください。**測定器がオフになる場合があります。
- 測定結果が表示されるまで、センサーを**取り外さないでください。**測定器がオフになる場合があります。

指先の全血検体をつける際には、血液がセンサー挿入口に入らないように測定器が下を向いた状態を保ってください。

注意：

血液吸引部分（細い溝）が血液で完全に染まっていない場合、エラーメッセージが表示されるか、または測定結果が正しく出ない場合があります。この場合は使用したセンサーは処分し、新しいセンサーを使って再測定してください。

測定結果の表示

ColorSure® ダイナミック血糖値指標（以下、血糖値指標）

ワンタッチベリオリフレクト™ には、血糖値指標機能が搭載されています。この機能は現在の測定結果が、目標値より低い（青）、目標範囲内（緑）、目標値より高い（赤）のいずれに該当するかを即座に知らせます。また、測定結果が目標範囲の上限または下限に近いときにも表示します。設定した目標血糖範囲に基づいてカラーバーの区分に血糖値指標アイコンが表示されます。血糖値指標アイコンは、絵文字（例 ）またはテキスト（例 ）のいずれかです。血糖値指標アイコンと区分化されたカラーバーを併用することで、測定結果があなたの目標血糖範囲のどこに位置するかが確認できます。

低
（青）

例 - 目標範囲より下の測定値

範囲内
（緑）

例 - 目標範囲内で下限寄りの測定値

高
（赤）

例 - 目標範囲より上の測定値

目標測定回数をオンにすると、毎日の測定目標への達成度が測定結果の上に表示されます。目標測定回数をオフにすると、測定結果の上に日付と時刻が表示されます。日付と時刻は各測定結果とともに常に記録され、測定記録で閲覧できます。90ページを参照してください。

⚠**警告：** 測定単位 mg/dLが表示されていることを確認します。画面にmg/dLではなく、mmol/Lが表示されている場合は、測定器の使用を中止してワンタッチコールセンターにご連絡ください。

⚠**注意：**

血糖値指標機能の特徴の情報を基に即座に治療の方法を**決定しないでください**。治療方法の決定は、測定結果が範囲内のどこに位置するかだけではなく、測定結果の数値と医師の指示に基づいて行ってください。

測定結果がどの患者のものか分からない場合、再測定を行ってください。

注意：

血糖値指標により自己判断で糖尿病治療を中断・変更しないでください。血糖値指標は、医師により設定された値に基づき、測定結果が設定した血糖目標範囲の範囲内または範囲外であるかを示すものであり、患者の自己判断や診断を行うものではありません。

測定結果画面の表示後、パターンメッセージ、役立つヒント、またはメダルが表示される場合があります。メッセージは、OKを押すと消去できます。メッセージをもう一度表示したい場合は、OKを再度押します。メッセージについて詳細は、72ページをご覧ください。

例

食前マークは、自動で測定結果に適用されます。食前マークを食後マークに変更すると、血糖値指標アイコンがカラーバーの異なる区分を示す場合があります。新しいメッセージが表示される場合があります。測定結果のマーク付けについては、66ページをご覧ください。

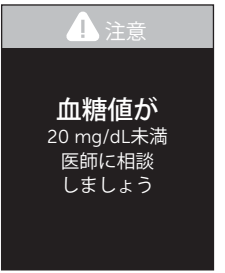
予期しない測定結果が出た場合

測定結果が予想より高いまたは低い場合など予期せぬものだった場合、以下の注意を参照してください。

⚠注意：

低めの測定結果

測定結果が、目標血糖範囲の下限値を下回った場合、または『**血糖値が20 mg/dL未満**』と表示されている場合、ただちに医師の指示に従ってください。



⚠注意：

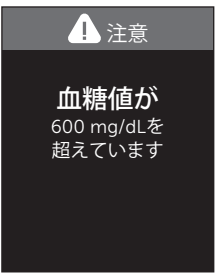
脱水症状と測定結果の低値表示

重度の脱水症状があるときは、測定値が偽低値を示すおそれがあります。自覚症状がある場合は、ただちに医師の指示に従ってください。

⚠注意：

高めの測定結果

測定結果が、目標血糖範囲の上限値を超える場合は、医師の指示に従ってください。高血糖をご懸念の場合は、医師にご相談ください。



『**血糖値が600 mg/dLを超えています**』のメッセージは、血糖測定結果が600 mg/dLを超える場合に表示されます。

まず医師の指示に従い対処し、相談してください。

⚠注意：

予期しない測定結果が繰り返し出る場合

- 予期しない測定結果が繰り返し出る場合は、コントロールテストを実施してください。57ページを参照してください。
- この取扱説明書の記載通りに測定を行っているにもかかわらず、自覚症状と測定結果が合わない場合は、ただちに医師の指示に従ってください。自覚症状を無視したり、医師に相談することなく、糖尿病治療などを中断・変更しないでください。

動作範囲値外のヘマトクリット値

ヘマトクリット値（血液に占める赤血球の容積を示すパーセンテージ）が高い場合（60%を超える）または低い場合（20%未満）は、正確な測定結果が得られない可能性があります。

使用済みのランセット（針）とセンサーの廃棄

使用済みのランセット（針）は予期せぬ穿刺事故を避けるために、細心の注意を払って廃棄してください。使用済みのランセット（針）とセンサーは、お住まいの地域において、感染性廃棄物とみなされる場合があります。医師の指示または地方自治体の規則に従って、適切に廃棄してください。

測定器、センサー、穿刺器具、およびキャップを扱った後は、水と石鹸で手をよく洗ってください。

コントロールテストの実施

コントロールテストの際の注意事項

ワンタッチベリオ®センサー専用コントロール溶液は、測定器とセンサーが適切に機能し、測定が正しく行われたことを確認するために使用されます。（コントロール溶液は別途入手してください。）

注:

- ワンタッチベリオ®センサー専用コントロール溶液だけをワンタッチベリオリフレクト™に使用してください。
- コントロール溶液の容器を初めて開封するときは必ず、容器ラベルに処分日を記入してください。処分日の決め方については、コントロール溶液の取扱説明書または容器のラベルを参照してください。
- コントロール溶液の汚染や劣化を防ぐため、使用後はただちにキャップをしっかりと閉めてください。

⚠注意:

- コントロール溶液を**飲み込んだり食べたりしないでください**。
- コントロール溶液は皮膚、目、耳または鼻を刺激するおそれがあるため、直接**触れないでください**。
- コントロール溶液の容器に印字されている使用期限または処分日を過ぎたコントロール溶液を使用すると正確な測定結果を得られませんので、使用期限または処分日のいずれかが過ぎたものは**使用しないでください**。

次の場合にコントロールテストを実施してください。

- 新しいセンサーの容器を開けて使用するとき。
- 測定器またはセンサーが正しく機能していないと思われるとき。
- 予期せぬ測定結果が繰り返し出ると思われるとき。
- 測定器を落とすなどして、測定器に衝撃を与えたとき。

病院内で行うコントロールテストは上記に加え、病院内のガイドラインに従ってください。

コントロールテストのために測定器を準備します

1. 測定器をオンにするには、OKを長押しします

メインメニューが表示されるのを待ちます。

2. ∧または ∨ を押して、『設定』を選択してからOKを押します

3.『コントロールテスト』を選択してから、(OK)を押します

『**センサーを挿入**』画面が表示されるのを待ちます。

4. センサーをセンサー挿入口に挿入します

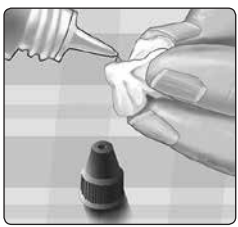
5.『コントロール溶液をつける』画面が表示されるのを待ちます

コントロール溶液を準備します

1. キャップを外す前に、容器を軽く振ってください

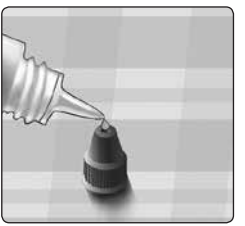
2. コントロール溶液の容器のキャップを外し、キャップの上部を上に向けて平らな場所に置きます

3. 最初の1滴目を捨ててください



4. 容器およびキャップの先端を清潔なティッシュペーパーまたは布できれいに拭いてください

5. キャップの小さな窪みか、清潔で平らな面に1滴落とします



コントロール溶液をセンサーに点着します

1. センサーの側面がコントロール溶液に対してわずかに斜めになるように測定器を持ちます

2. センサーの側面の血液吸引部分（細い溝）をコントロール溶液に点着させます

3. 血液吸引部分（細い溝）が溶液で完全に染まったのを確認してください

コントロール溶液の測定結果の確認

コントロール溶液の点着後、測定器は約5秒間処理中の画面を表示します。測定結果は、日付、時刻、測定単位、および Ⓒ（コントロール溶液を表す）とともに表示されます。

例

コントロール溶液の測定結果は測定器に保存され、過去の測定結果を確認する際に測定器上で表示できます。

警告：

測定単位がmg/dLと表示されていることを確認してください。測定単位がmg/dLではなくmmol/Lで表示されている場合は使用を中止し、ワンタッチコールセンターまでご連絡ください。ワンタッチコールセンターの連絡先情報は、この取扱説明書の最後に記載されています。

⚠注意：

コントロールテストを始める前に、設定メニューから『**コントロールテスト**』が選択されていることを確認してください。57ページの手順に従ってください。画面に⊖が表示されない場合は、平均値にこの測定値が含まれ、これにより平均値も変化します。新しいセンサーで再測定してください。問題が解消しない場合は、ワンタッチコールセンターにご連絡ください。ワンタッチコールセンターの連絡先情報は、この取扱説明書の最後に記載されています。

コントロールテストの測定結果が範囲内であるかどうかの確認

お使いのワンタッチベリオ®センサー専用コントロール溶液の容器に記載された範囲と測定値に表示された測定結果を比較します。コントロール溶液の測定結果が、許容範囲から外れている場合、新しいセンサーで再測定してください。

許容範囲の例
ワンタッチベリオ®センサー専用コントロール溶液の許容範囲
102〜138 mg/dL

⚠注意：

コントロール溶液に印字された許容範囲は、コントロールテストの許容範囲です。**血糖値の推奨範囲ではありません**。

許容範囲外の結果の原因

許容範囲外の結果の原因として以下が考えられます:

- コントロールテストを行う際に指示通り行わなかった。
- コントロール溶液が汚染されていた、使用期限を過ぎていた、または処分日を過ぎていた。
- センサーまたはセンサーの容器が破損していた、使用期限を過ぎていた、または処分日を過ぎていた。
- コントロールテストを行う時、測定器、センサー、コントロール溶液の温度が同じでなかった。
- 測定器に問題が生じた。
- コントロール溶液の容器のキャップ上部の窪みが汚れていた、または汚染されていた。

⚠注意：

コントロールテストの結果が、再びコントロール溶液の容器に記載された許容範囲を外れるような場合は、測定器、センサー、またはコントロール溶液の使用を中止してワンタッチコールセンターにご連絡ください。ワンタッチコールセンターの連絡先情報は、この取扱説明書の最後に記載されています。

コントロール溶液の容器のキャップのクリーニング

コントロール溶液の容器のキャップ先端を清潔な湿らせたティッシュか布で拭き取ります。

4 測定結果にマークを付ける

食事とイベントマークの追加

ワンタッチベリオリフレクト™では、食前 ( ) または食後 ( ) のマークを、表示されている血糖測定結果に付けることができます。血糖値と食事の間の関係を理解することは重要です。測定結果に食事マークを付けると、食事に関する情報が測定結果に追加されます。測定器は、この情報を様々な方法で使用し、パターンメッセージ、役立つヒント、メダルを表示します。この食事マークがあなたの糖尿病管理にどのように役立つかがご不明な場合は、担当の医師にご相談ください。食事マークをつける際は、以下を参考にしてください。

- 食前血糖測定は、食事を開始する直前に行います。
- 食後血糖測定は、一般的に食事開始から1、2時間後に行います。
- 空腹時の血糖測定は、食前としてマークします。

食事マークに加えて、ワンタッチベリオリフレクト™には、イベントマーク機能も搭載されています。イベントマーク機能で、血糖測定結果に、あなたの健康や生活関連のイベントについての情報を追加できます。測定器はあなたの過去の測定結果をレビューして、特定の条件が揃うと、マークされた測定結果に関連したメッセージを表示します。イベントマークアイコンやその意味については、4ページをご覧ください。

1. 画面に表示された血糖測定結果の見方

測定結果には自動で食前マークが付きますが、イベントマークは付きません。

2. メッセージが表示され、それを削除したい場合は、(OK)を押します

3. 食後マークに変更したい場合は、↩を押した後、食後マークを選択して OK を押します

注：測定結果とともに表示される血糖値指標アイコンは、食前・食後の範囲を使用します。食前マークを食後マークに変更すると、血糖値指標アイコンがカラーバーの異なる区分に表示される場合があります。また、新しいメッセージが表示される場合があります。

4. イベントマークを測定結果に追加するには、↩を押します

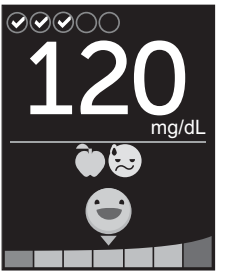
5. ^または⌄を押し、『イベントマーク』を選択してからOKを押します

6. ^または⌄を押し、イベントマークを選択してからOKを押します

測定結果に複数のイベントマークを追加できます。

✓はイベントマークが追加されたことを示しています。

7. イベントマークの選択が終わったら、『確定』を選択して㊎を押します



例

測定結果は、マークとともに表示されます。㊍を長押しすると、マークの編集が行えます。

注： 血糖測定結果へのマークの追加は注意して行ってください。測定結果画面を放置すると、マークと測定結果は測定記録に保存され、**変更できなくなります。**誤った食事マークを付けると、測定器が食前・食後平均値と血糖値パターンを正確に識別できなくなる原因となります。誤ったイベントマークを付けると、測定器に誤ったメッセージが表示される原因となります。

このページは意図的に空白にされています

5 メッセージについて

血糖測定サポーターのメッセージの概要

ワンタッチベリオリフレクト™は、あなたの過去の測定結果をレビューし、役立つヒント（アドバイス）、パターンメッセージ（気づき）、またはメダルを表示する場合があります。あなたの測定結果に複数のメッセージが当てはまる場合、測定器は最も適切なメッセージを表示します。

1. **役立つヒント**は、測定結果が一貫して目標範囲内にある場合、または現在の血糖値の傾向が目標範囲の下または上の場合に表示されます。
2. **パターンメッセージ**は、測定器に設定された目標範囲値の上限・下限から外れる血糖値パターンを測定器が識別した場合に表示されます。
3. **メダル**は、毎日の測定目標の達成や測定結果のマーク付けなど、メダルに値する特定の基準を満たした場合に授与されます。

(OK)を押すと、メッセージが消えます。

パターンメッセージについて

低めパターンと高めパターンのメッセージは、測定器に設定された食事前または食事後の目標範囲値の上限・下限から外れる血糖値パターンを測定器が識別した場合に表示されます。

血糖測定のたびに、お使いのワンタッチベリオリフレクト™は、過去5日間で記録されたすべての新しいパターンを検索します。血糖値パターンは、測定器に設定された食事時の目標範囲値の上限・下限から外れる結果を検索し、テストが行われた日の時刻と相互参照することによって識別されます。血糖値パターンを形成する一連の結果については、測定結果は過去5日間の同じ3時間の時間帯に測定されたものである必要があります。

パターンが識別されると、パターンメッセージアイコン(💬)が測定結果の下に表示されます。パターンメッセージは測定結果画面の後で表示されます。不正確な測定結果によって、パターンメッセージが表示される場合があります。

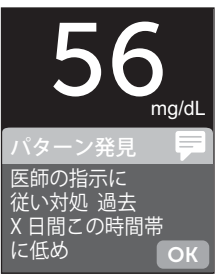
一度パターンに使用された測定結果は、今後のパターンメッセージに再び使用されることはありません。

パターンを生成する測定結果の確認

低めパターンまたは高めパターンを生成するために組み合わされる個々の測定結果の確認方法は3つあります。

測定後、低めパターンまたは高めパターンのメッセージを閲覧するには、(OK)を押します。

例 - パターンアイコンを表示する測定結果画面



例 - パターンメッセージ

パターンの基になる個々の血糖測定結果についての詳細を閲覧するには、再び ⓞⓚを押します。

例 - 低めパターンを生成した測定結果

または、測定記録画面からパターンにアクセスすることができます。90ページを参照してください。

5 メッセージについて

低め*パターンメッセージは、過去5日間のうちの異なる日に任意の2つの測定結果が以下の条件を満たす場合に表示されます：

- 同じ測定時間帯（3時間以内）
- 食事前または食事後の目標血糖範囲の下限値を下回る

注：低めの処置については、担当医師の指示に従ってください。

*Lee-Davey, J., Alexander, S., & Raja, P. (2011, February 16). *Clinical Patterns of Low Blood Glucose Identified by a Pattern Algorithm May Predict Increased Risk of Severe Hypoglycemia in the Following 24-Hour Period [PDF]*. Inverness, Scotland: LifeScan.

高めパターンのメッセージは、過去5日間のうちの異なる日に任意の3つの測定結果が以下の条件を満たす場合に表示されます：

- 同じ測定時間帯（3時間以内）
- 食事前または食事後の目標血糖範囲の上限値を上回る
- 同じ食事マークが付いている

イベントマークパターンのメッセージは、過去30日間のうちの異なる日に任意の3つの測定結果が以下の条件を満たす場合に表示されます：

- 同じ測定時間帯（3時間以内）
- 食事前または食事後の目標血糖範囲の下限値または上限値を超える
- 同じイベントマークが付いている

注: 低めパターンと高めパターンのメッセージを適切に表示させるには:

- ベーシックモードをオフにして、パターンのメッセージをオンにする必要があります。116ページと119ページをご覧ください。
- タイムゾーンを変更したり、またはサマータイムにより時刻を変更した場合、日付と時刻を更新してください。
- 血糖測定には同一の測定器を使用してください。複数の測定器を使用すると、適正なパターンが表示されない可能性があります。
- 血糖測定結果のマーク付けは注意して行ってください。
- 血糖値が高い、または低いと感じる時に測定してください。

⚠注意：

- 緊急的な対処が必要な場合には、直近の測定結果を用いて、必ず医師の指示に基づき行ってください。また、パターンメッセージの表示を待たないでください。
- パターンメッセージにより自己判断で糖尿病治療を**中断・変更しないでください**。パターンメッセージは、医師により設定された値に基づき、過去の測定結果から得られた傾向を示すものであり、患者の自己判断や診断を行うものではありません。
- 低めまたは高めの測定結果の処置をするために、パターンのメッセージを**待たないでください**。
- パターンメッセージは医師が測定器で設定した値に基づくものです。これらのメッセージは、血糖値が600mg/dLを超えた場合、または20mg/dLを下回った場合に必ず表示される『**血糖値が600mg/dLを超えています**』および『**血糖値が20mg/dL未満**』というメッセージとは異なります。
- パターンメッセージを使用するときは、測定器を他人に使わせないでください。

役立つヒントについて

役立つヒントは、測定結果が一貫して範囲内にある場合に通知され、測定結果が低い・高い傾向にある場合は糖尿病管理についての情報を表示します。

注: 役立つヒントは、現在の測定結果とともに表示され、後で閲覧することはできません。

- **低値です** - 現在の測定結果が目標範囲値の下限より低く、過去14日間で最も低い測定結果より少なくとも5 mg/dLを超えて低いです。
- **午前中に低め** - 午前中（AM5：00～AM9:00）の現在の測定結果で、目標範囲値の下限より低いです。[1]
- **低めです** - 現在の測定結果が、目標範囲値の下限より低いです。[1, 2]
- **高めです** - 現在の測定結果が目標範囲値の上限より高く、過去14日間で最も高い測定結果より10%高いです。

- **午前中に高め** - 午前中（AM5：00～AM9:00）の現在の測定結果で、目標範囲値の上限より高いです。[1]
- **深夜に高め** - 夜間（PM10:00～AM1:00）の現在の測定結果が目標範囲値の上限より高いです。[1]
- **おめでとう** - 90日トレンドが改善しています。
- **90日トレンド上昇** - 90日平均値が上昇しました。
- **90日トレンド更新** - 新しい90日トレンドを表示できます。
- **下限値に近い** -結果は目標範囲内ですが目標範囲値の下限寄りです。
- **上限値に近い** - 結果は目標範囲内ですが目標範囲値の上限寄りです。
- **順調です** - 測定結果は、2連続の低め（70mg/dL未満）または3連続の高め（目標範囲の上限より高い）の測定結果の後、範囲内に戻りました。
- **その調子です** - 過去7日間で70%を超える測定結果が範囲内でした。
- **7日間平均値** - 新しい7日平均値が表示されています。

5 メッセージについて

- **ペアリング未設定** - 測定器とアプリが同期設定していないことを通知します。
- **測定器を接続** - 測定器をアプリと同期するよう通知します。
- **運動後に低め** - 運動イベントマークを付けた現在の測定結果が目標範囲値の下限より低いです。[3、4]
- **リラックスが必要** - ストレスイベントマークを付けた現在の測定結果が目標範囲値の上限より高いです。[4]

[1]Riddle, M. C., MD (Ed.). (2018). 6. Glycemic Targets: Standards of Medical Care in Diabetes 2018 [Abstract]. Diabetes Care, 41 (Suppl. 1), S60-61.

[2]American Association of Diabetes Educators. (2018). *HYPOGLYCEMIA What are the symptoms? And how should I treat it?* [Brochure]. Chicago, IL: Author.

[3]American Association of Diabetes Educators. (2017). *AADE7 Self-Care Behaviors, Problem Solving* [Brochure]. Chicago, IL: Author.

[4]Riddle, M. C., MD (Ed.). (2018). 6. Glycemic Targets, S44-45.

メダルについて

ワンタッチベリオリフレクト™は、以下に記載された目標を継続記録します。毎回、銅メダル()、銀メダル()または金メダル( )のステータスが付与され、メダルは範囲内の測定結果とともに表示されます。後から、ふりかえりでメダルを閲覧できます。(84ページを参照してください。)

- **目標測定回数** - 毎日の測定目標を、合計、または連続して一定回数を達成した場合。
- **目標範囲内** - 範囲内の測定結果を、連続で一定回数を達成した場合。
- **イベントマーク数** - 測定結果にイベントマークを付けた合計回数が、一定回数を達成した場合。
- **同期** - 測定器をOneTouch Reveal®モバイルアプリに同期した合計回数が、一定回数を達成した場合。

6 ふりかえり、測定記録、および90日トレンド

ふりかえりの閲覧

選択された設定に従い、ふりかえりは測定結果を範囲、時刻、平均、食事時刻平均、目標測定回数の進捗、メダルで表示することができます。あなたと担当医はふりかえりを参照して、あなたの糖尿病管理における全体的な傾向を把握することができます。

注意：

- 医師の指示に基づく対処を行う場合には、過去の測定結果および平均値を**用いないでください**。[対処が遅れることにより、高血糖または低血糖症状が現れることがあります。]
- あなたの血糖測定器を他の人に**使用させないでください**。血糖平均値に影響を及ぼす場合があります。
- 測定器は、現在の日付を最終日とする7日間、14日間、30日間の平均値を算出します。日付設定を変更すると、その平均値も変化することがあります。
- 日付と時刻の設定が正しくない場合、ふりかえりや役立つヒント、パターンメッセージ、測定記録および90日トレンドが適切に表示されません。正しく設定されていない場合は108ページを参照して再設定するか、またはワンタッチコールセンターにお問い合わせください。ワンタッチコールセンターの連絡先情報は、この取扱説明書の最後に記載されています。

禁止:

糖尿病治療や血糖測定は、必ず医師の指導・管理のもとで行い、測定結果により患者の自己判断で糖尿病治療を中断・変更しないでください。臨床的診断は医師が臨床的な症状や他の検査結果を合わせ、総合的に判断してください。[本品は、血糖管理の有効性をモニタリングする補助としての使用を意図しているためです。]

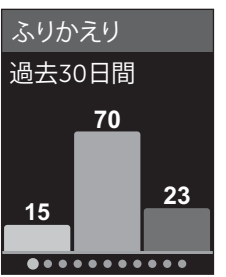
- ふりかえり画面は、現在選択されている機能に基づき表示されます。測定器の機能のオン／オフ切り替えについての詳細は、108ページをご覧ください。
- ベーシックモードが選択されていると、ふりかえり情報は30日ふりかえりと平均表示に限定されます。ベーシックモードについて詳細情報は、32ページをご覧ください。
- 平均値、パターンメッセージ、およびメダルでは、**『血糖値が600 mg/dLを超えています』**の測定結果は、常に600 mg/dLとして、**『血糖値が20 mg/dL未満』**の測定結果は、常に20 mg/dLとして表示されます。
- ふりかえり画面を移動すると、緑の進捗ドットが左から右へと移動します。

進捗ドット

- ㊦を押すと、前の画面が表示されます。

1. メインメニューで、(∧)または(∨)を押して、『ふりかえり』を選択し、(OK)を押します

目標範囲より低い（青）、目標範囲内（緑）、および目標範囲より高い（赤）の測定結果の数が棒グラフで表示されます。



例

2. ⌄を押すと、時刻ごとのふりかえりが表示されます

時刻ごとの目標範囲より低い、目標範囲内、および目標範囲より高いの測定結果の数が表示されます。午前、午後、夜間、深夜の4つの時間枠があります。4つの時間枠の設定は変更できません。

例

午前	06:00から11:59
午後	12:00から17:59
夜	18:00から23:59
深夜	0:00から5:59

注： 過去30日間で目標範囲内に測定結果が無い場合、グラフのそのセクションは空白となります。

3. 過去7、14、30日間の全体的な平均値を表示するには、⌄を押します

例

4. ベーシックモードがオフになっている場合は、⌄を押して、過去7、14、30日間の食前平均値を表示します

例

5. ベーシックモードがオフになっている場合は、⌄を押して、過去7、14、30日間の食後平均値を表示します

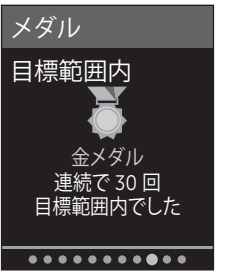
例

注： 過去7、14、30日間で測定結果が無い場合、mg/dLの項目にダッシュ（ー）が表示されます。

6. 目標測定回数がオンになっている場合、⌄を押して、1日の目標画面を表示します

例

7. メダルがオンになっている場合は、⌄を押して、メダルの画面を表示します



例

測定記録の閲覧

測定記録から、直近750件までの測定結果を確認できます。

測定結果とともに表示される測定器のアイコンの定義については、4ページをご覧ください。

↶を押して離すと、前の画面を表示できます。

1. メインメニューで ∧ または ∨ を押して、『測定記録』を選択して OK を押します

画面に最大4つの測定結果が最新のものから順に表示されます。

例

2. ⌄または ⌃を押して、測定結果のリストを移動します

注： 測定結果がパターンの一部を構成する場合、その測定結果に関連する任意のマークではなく、その測定結果のパターンのアイコンが表示されます。

例

3. アイコン付きの測定結果を選択して OK を押します

測定結果画面は、測定された日付と時刻、マーク、パターン、または血糖値指標アイコンと一緒に表示されます。
日付と時刻表示された測定結果が最新のものであるかどうか不明な場合は、画面上の日付と時刻を確認してください。

例

測定結果がパターンの一部を構成する場合は、💬によって表示され、再び(OK)を押すと、そのパターンに関連する測定結果が表示されます。パターンについての詳細は、73ページをご覧ください。

例

90日トレンドの閲覧

過去90日間のワンタッチベリオリフレクト™の平均測定結果は、血糖測定結果の全体的な傾向を表示します。最初の90日平均が表示されるためには最初に測定を行った日から最低90日間が経過する必要があります。最初の90日平均値は、画面のグラフ上に1点で表示されます。最初の90日平均後、14日ごとに新しい点が表示されます。

6 ふりかえり、測定記録、および90日トレンド

注：

- 90日トレンドの機能を使用するには、ベーシックモードをオフにする必要があります。（116ページを参照してください。）
- 90日トレンドは、血糖測定結果の平均値です。緊急的な対処が必要な場合には、必ず直近の測定結果を用いて、医師の指示に基づき行ってください。

1. メインメニューで、(∧)または(∨)を押して、『90日トレンド』を選択して (OK)を押します

現在の90日平均が、測定単位とともに血糖値として表示されます。グラフ上の各点は、14日ごとに自動で生成される90日平均値を表します。90日トレンドは、グラフ上の点に沿って視覚的に追跡することができます。

例

1	現在の90日平均値
2	最新の平均点
3	測定器に設定された90日平均の目標
4	最も古い平均点

2. ↩を押して、メインメニューに戻ります

互換性のあるワイヤレス機器への接続

BLUETOOTH®機能のオン／オフ切り替え

測定器と互換性のあるワイヤレス機器を接続するには、BLUETOOTH®機能をオンにする必要があります。BLUETOOTH®機能をオンにすると、記号が測定器画面に現れます。画面に記号が現れない場合は、BLUETOOTH®機能がオフになっています。

1. OKボタンで測定器をオンにして、開始します

メインメニューが表示されるのを待ち、∧または∨を押して、『**設定**』を選択してOKを押します。

2. 設定メニューで、『Bluetooth』を選択してOKを押します

✓は、BLUETOOTH®が現在オンまたはオフに設定されているかを示します。

3. ⌃または ⌄を押して、『オン』または『オフ』を選択して OKを押します

注： BLUETOOTH®機能は、血糖測定中はオフになります。

ペアリングの概要

ペアリングによって、お使いのワンタッチベリオリフレクト™血糖測定器と互換性のあるワイヤレス機器との通信が可能になります。ペアリングと同期を可能にするには、両機器を8メートル以内に近づけます。OneTouch Reveal®モバイルアプリをApp StoreまたはGoogle Playでダウンロードした後、測定器と互換性のあるワイヤレス機器とをペアリングします。

AppleとAppleのロゴは、米国およびその他の国々で登録されているApple Inc.の商標です。App Storeは、米国およびその他の国々で登録されているApple Inc.のサービスマークです。

Google PlayおよびGoogle Playのロゴは、Google LLCの商標です。

注： OneTouch Reveal®モバイルアプリはお使いいただけない場合があります。使用可能か否かについてはwww.OneTouch.jpでご確認いただけます。

複数のワンタッチベリオリフレクト™をお使いの互換性のあるワイヤレス機器とペアリングすることができます。例えば、お使いの互換性のあるワイヤレス機器を、ご自宅の測定器とお勤め先の別の測定器にペアリングすることが可能です。複数の測定値をペアリングするには、各測定器のペアリングの方法を繰り返し実行します。ペアリングの方法は、100ページをご覧ください。

お使いのワンタッチベリオリフレクト™は、複数の互換性のあるワイヤレス機器とペアリングすることができます。複数の互換性のあるワイヤレス機器とペアリングするには、各ワイヤレス機器のペアリングの方法を繰り返します。

ペアリングの方法

測定器をアプリとペアリングするには、BLUETOOTH®機能をオンにする必要があります。96ページを参照してください。

1. OneTouch Reveal®モバイルアプリを起動し、手順通りに測定器とお使いの互換性のあるワイヤレス機器とペアリングしてください

2. 互換性のあるワイヤレス機器の画面上で、「OneTouch」と測定器のシリアル番号の下4桁を探し、測定器を正しく識別します

測定器の画面に、互換性のあるワイヤレス機器上で検索されるペアリング情報が表示されます。

例

3. OneTouch Reveal®モバイルアプリの準備ができたら、測定器に6桁のBluetoothキーが表示されます

Bluetoothキーの例

キーパッドを使って、Bluetoothキーをお使いの互換性のあるワイヤレス機器に入力してください。

⚠注意：

互換性のあるワイヤレス機器に入力するBluetoothキーが、測定器の画面上のBluetoothキーと一致することをご確認ください。Bluetoothキーが、お使いの測定器の画面上に予期せず表示された場合、測定用のセンサーを挿入するか、㊎ボタンを押して、Bluetoothキーの請求をキャンセルしてください。

4. 互換性のあるワイヤレス機器が、測定器とペアリングされたことを表示するのを待ちます

測定結果のアプリへの送信

測定器のBLUETOOTH®機能がオンになっている場合、BLUETOOTH®の記号 ( ) が表示され、測定器はペアリングされた互換性のあるワイヤレス機器に自動で測定結果を送信します。

同期の記号 ( ) が測定器の画面上で点滅します。同期が終わると同期の記号は消え、アプリは測定器から送信された新しい測定結果のリストを表示します。その測定結果は、あなたの介護者や医師と共有することができます。

⚠注意：

緊急的な対処が必要な場合には、直近の測定結果を用いて、必ず医師の指示に基づき行ってください。

注： 測定結果を送信する前に、互換性のあるワイヤレス機器でアプリを起動し、測定器とのペアリングを済ませておく必要があります。98ページを参照してください。

注： 測定器のBLUETOOTH®機能が**オフになっている場合**、または測定器がネットワーク圏外にある場合、測定結果は互換性のあるワイヤレス機器に送信されません。測定結果は、現在の日付と時刻とともに測定器のメモリに保存され、次の同期の際にアプリに送信されます。また、送信される測定結果は測定器にも保存されます。同期するには、お使いの互換性のあるワイヤレス機器上でアプリを起動し実行する必要があります。

血糖測定結果がアプリに送信されたかどうかを確認するには、BLUETOOTH®機能をオンにして、以下を確認してください：

- 互換性のあるワイヤレス機器と測定器両方がオンになり、アプリが起動している。
- 測定器が互換性のあるワイヤレス機器と正しくペアリングされている。
- 両機器上でBLUETOOTH®機能が動作しており(ᛒにより表示)、各機器間の距離が8メートル以内。
- 測定器は、オフになっている場合でも、測定後4時間まで測定結果の転送を試みます。

それでも測定結果を互換性のあるワイヤレス機器に送信できない場合は、一度ペアリングを解除し、測定器と互換性のあるワイヤレス機器をより近づけるか、干渉源と思われる場所から移動させて機器を再ペアリングします。それでも問題が解消しない場合は、ワンタッチコールセンターにご連絡ください。ワンタッチコールセンターの連絡先情報は、この取扱説明書の最後に記載されています。アプリに関する問題は、ワンタッチコールセンターにお問い合わせください。

注:

- 転送中にセンサーを挿入すると、すべての測定結果の転送がキャンセルされます。『**血液をつける**』画面が表示されたら、測定を開始できます。
- 不正確な測定結果が互換性のあるワイヤレス機器に送信されないように注意してください。

測定結果のコンピュータへのダウンロード

測定器は、血糖値に影響を及ぼす主な要因を視覚的に追跡する糖尿病管理ソフトウェアとともに動作させることが可能です。ご利用いただける糖尿病管理ツールについての詳細情報は、ワンタッチコールセンターにお問い合わせください。ワンタッチコールセンターの連絡先情報は、この取扱説明書の最後に記載されています。

UL 60950-1への準拠が認証されたコンピュータ(UL)にのみ接続してください。

測定器のデータを転送するには、糖尿病管理ソフトウェア製品に付属する説明書に従って、測定器から測定結果をダウンロードします。ワンタッチベリオリフレクト™をコンピュータに接続して測定結果をダウンロードするには、標準的なマイクロUSBインターフェースケーブルが必要です (付属していません)。

ダウンロードを開始するコマンドがコンピュータから測定器に送信されると、『**ケーブル接続済み**』画面が現れ、測定器が通信モードであることが表示されます。

測定器がコンピュータに接続されている間は、センサーを**挿入しないでください**。

測定結果をコンピュータにダウンロードできない場合は、ワンタッチコールセンターにご連絡ください。

このページは意図的に空白にされています

8 測定器の設定の調整

設定メニューの概要

最初の設定後、設定メニューから測定器の設定の調整や、追加機能へのアクセスが行えます。

日付・時刻	時刻と日付の設定
言語	画面に表示する言語の設定
目標範囲・90日	• 食前目標範囲値の設定 • 食後目標範囲値の設定 • 90日平均の目標の設定
機能	• ベーシックモードのオン／オフ切り替え • 目標測定回数のオン／オフ切り替え • 毎日の測定目標の設定 • 血糖値指標アイコンの絵文字／テキストの設定
メッセージ	• パターンメッセージのオン／オフ切り替え • 役立つヒントのオン／オフ切り替え • メダルのオン／オフ切り替え
Bluetooth	BLUETOOTH®機能のオン／オフ切り替え
コントロールテスト	コントロールテストを開始
測定器情報	測定器のシリアル番号、ソフトウェアバージョン、サブエラー番号の確認

注:『**Bluetooth**』についての情報は、16ページをご覧ください。『**コントロールテスト**』についての情報は、57 ージをご覧ください。

設定メニューへの移動

メインメニューで、(^)または(v)を押して、『設定』を選択して (OK)を押します

設定メニューが表示されます。

時刻と日付の調整

旅行中など、必要に応じていつでも時刻と日付を変更できます。

注: この設定を最後の血糖値またはコントロールテストの前の日時に調整すると、測定記録が順不同で表示されます。測定記録は、測定された順に測定結果を表示します。

1. 設定メニューで、⌃または ⌄を押して、『日付・時刻』を選択して OKを押します

2. 時刻／日付を選択してOKを押します

3. 希望の設定を調整してOKを押します

この手順を必要に応じて繰り返します。

言語の調整

1. 設定メニューで、⌃または⌄を押して、『言語』を選択してOKを押します

測定器で現在設定されている言語の隣に、✓が表示されます。

2. 使用したい言語を選択してOKを押します

設定メニューが選択した新しい言語で表示されます。

目標範囲値と90日平均の目標の調整

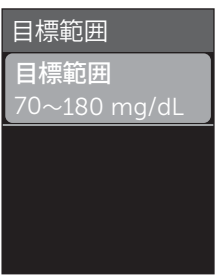
注:

- 目標範囲値を調整しても、測定記録の前の血糖値指標アイコンは変化しません。目標範囲値の変更によって影響を受けるのは新しい測定結果のみです。
- あなたに合った適切な目標範囲値と90日平均の目標については、担当の医師にご相談ください。
- 血糖値指標、パターンメッセージ、役立つヒントおよびメダルにより患者の自己判断で糖尿病治療などを中断・変更しないでください。[血糖値指標、パターンメッセージ、役立つヒントおよびメダルは、医師により設定された値に基づき、測定結果が設定した血糖目標範囲の範囲内または範囲外であるか、過去の測定結果から得られた傾向または血糖管理に関するアドバイスなどを示すものであり、患者の自己判断や診断を行うものではありません。]

1. 設定メニューで、⌃または⌄を押して、『目標範囲・90日』(または ベーシックモード用『目標範囲』)を選択してOKを押します

現在の測定器設定が表示されます。

例-ベーシック
モードオフ



例-ベーシック
モードオン

2. 調整する範囲設定を選択してOKを押します

3. 下限を調整して(OK)を押します

例 -食前

測定器は、測定器内の食前・食後目標範囲値設定を使用して、測定結果が食前後の目標範囲内、目標範囲より下または上のいずれかを通知します。設定した食前後の目標範囲値は、すべての血糖測定結果に適用されます。血糖値指標の機能、パターンの検出およびふりかえりで使用されます。

食前目標範囲値

初期設定の下限値	70 mg/dL
初期設定の上限値	130 mg/dL
設定が可能な下限値の範囲	60 mg/dL～110 mg/dL
設定が可能な上限値の範囲	90 mg/dL～300 mg/dL

上限値を変更するには、この手順を繰り返します。

食後目標範囲値

初期設定の下限値	70 mg/dL
初期設定の上限値	180 mg/dL
設定が可能な下限値の範囲	60 mg/dL～110 mg/dL
設定が可能な上限値の範囲	90 mg/dL～300 mg/dL

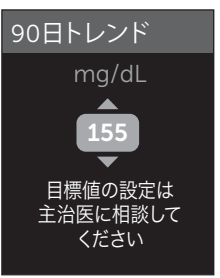
注： ベーシックモードでは、目標範囲は食事時間によって定義されません。ベーシックモード用の目標範囲は初期設定されています。

ベーシックモード用の目標範囲値

初期設定の下限値	70 mg/dL
初期設定の上限値	180 mg/dL
設定が可能な下限値の範囲	60 mg/dL～110 mg/dL
設定が可能な上限値の範囲	90 mg/dL～300 mg/dL

4. 90日平均の目標を調整するには、90日目標の設定を選択して(OK)を押します

5. 90日平均の目標を調整して(OK)を押します



測定器は、90日平均の目標155 mg/dLで初期設定されています。最低90日平均の目標は99 mg/dL、最高は265 mg/dLです。

注： 90日平均の目標が自分に適切であるかどうかについては、必ず担当の医師にご相談ください。

ベーシックモードのオン／オフ切り替え

注： ベーシックモードの選択は、測定器に表示される情報に影響を与えます。詳細情報は、32ページをご覧ください。

- ベーシックモードの設定は医師が行ってください。

1. 設定メニューで、⌃または⌄を押して、『機能』を選択してOKを押します

機能メニューは、現在ベーシックモードがオンまたはオフになっていることを示します。

2. 『ベーシック』を選択してOKを押します

測定器で設定された現在のモードの隣に、✓が表示されます。

3. 『オン』または『オフ』を選択して㊎を押します

ベーシックモード、目標測定回数、血糖値指標は機能メニューから削除されます。

ベーシックモードは、初期設定されたベーシックモード用の目標範囲値を使用し、最初のセットアップ時に設定されたものとは異なります。目標範囲値の調整についての詳細情報は、111ページをご覧ください。

目標測定回数のオン／オフ切り替え、および毎日の測定目標の設定

1. 設定メニューで、㊊または㊋を押して、『機能』を選択して㊎を押します

機能メニューは、現在の目標測定回数の設定を示します。

注： ベーシックモードが選択されている場合、目標測定回数は機能メニューに表示されません。

2. 『目標測定回数』を選択して㊎を押します

3. 毎日の測定目標を調整してから、OKを押します

測定器には、毎日の測定目標に1日2回測定が初期設定されています。毎日の測定目標の最大値は8回です。

注： 毎日の測定目標が自分に適切であるかどうかについては、必ず担当の医師にご相談ください。

目標測定回数をオフにするには、∧または∨を押して『**オフ**』を選択して、OKを押します。

血糖値指標アイコンを絵文字かテキストに設定

1. 設定メニューで、∧または∨を押して、『機能』を選択してOKを押します

現在の測定器設定が表示されます。

2. 『血糖値指標』を選択してOKを押します

測定器の現在の設定の隣に、✓が表示されます。

3. 『絵文字』または『テキスト』を選択してから、OKを押します

パターンメッセージ、役立つヒント、メダルのオン／オフ切り替え

注：

- メッセージメニューを設定で表示させるには、ベーシックモードをオフにする必要があります。116ページを参照してください。
- パターンメッセージがオフになっている場合、測定結果、ふりかえり、または測定記録の画面でパターンが表示されなくなります。測定器は、パターン情報の追跡を継続します。パターンメッセージをオンに切り替えると、パターンアイコンが、ふりかえりと測定記録に表示されます。パターンメッセージについての詳細は、73ページをご覧ください。
- 役立つヒントをオフにすると、役立つヒントが表示されなくなります。役立つヒントについての詳細は、80ページをご覧ください。
- メダルをオフにすると、測定結果またはふりかえりビューでメダルが表示されなくなります。メダルについての詳細は、83ページをご覧ください。

1. 設定メニューで、⌃または⌄を押して、『メッセージ』を選択してOKを押します

現在の測定器設定が表示されます。

2. 『パターン』、『役立つヒント』または『メダル』を選択してOKを押します

測定器の現在の設定の隣に、✓が表示されます。

3. 『オン』または『オフ』を選択してOKを押します

測定器情報とサブエラー番号を表示

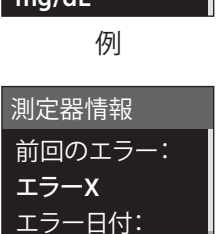
測定器のシリアル番号、ソフトウェアバージョン、および直近の測定器のサブエラーについての情報は、測定器に保存されます。いつでもこの情報を確認し、トラブルシューティング用に使用することができます。

1. 設定メニューで、⌃または⌄を押し、『測定器情報』を選択してOKを押します

測定器のシリアル番号、ソフトウェアバージョン、測定単位が表示されます。

例

2. ⌄を押して、直近の測定器エラーについての情報を確認します



例

⎋を押すと、設定メニューに戻ります。

警告:

測定単位がmg/dLと表示されていることを確認してください。測定単位がmg/dLではなくmmol/Lで表示されている場合は使用を中止し、ワンタッチコールセンターまでご連絡ください。ワンタッチコールセンターの連絡先情報は、この取扱説明書の最後に記載されています。

システムの保管

使用後は、測定器一式をキャリングケースに収納して保管してください。直射日光、高温多湿を避け、30℃以下で保存してください。冷蔵庫や冷凍庫では**保管しないでください**。温度がこれより高い場所、または相対湿度が10~90%を外れる場所で保管したセンサーは使用しないでください。

汚染や劣化を防ぐため、センサーおよびコントロール溶液の使用後は、ただちに容器のキャップをしっかりと閉めてください。

センサーは必ず開封時に入っていた容器に入れたまま保管してください。

お手入れと消毒

お手入れと消毒は別のものであり、両方とも行う必要があります。お手入れは、消毒の前に通常のケアやメンテナンスの一環として行いますが、消毒効果はありません。感染症への曝露を低減するための唯一の方法は消毒です。お手入れについての情報は、123ページを、消毒についての情報は、125ページをご覧ください。

特定保守管理医療機器

血糖自己測定器（自己検査用グルコース測定器）は特定保守管理医療機器です。特定保守管理医療機器とは、適正な管理が行わなければ重大な影響が出るおそれがあるものとして、厚生労働大臣により

指定されたものと法に定められています。

医療機関には、特定保守管理医療機器の保守点検に関する計画の策定やその実施が義務付けられています。ご使用にあたっては、医療機関の指導に基づき、日常点検など適正な使用をお願いします。

血糖測定器のお手入れ

測定器のお手入れは、消毒前に汚れが目についたときは必ず行います。お手入れには、中性洗剤と柔らかい布を使います。中性洗剤 2.5 mLを250 mLの水に入れて溶かした液を用意します。

穿刺器具のお手入れ方法については、お使いになる穿刺器具の添付文書および取扱説明書をご参照ください。

- アルコールまたはその他の有機溶媒を**使用しないでください**。
- 液体、汚れ、埃、血液、またはコントロール溶液などが、センサー挿入口、またはデータポートに**入らないようにしてください**。（24 ページ を参照してください。）

- 測定器に洗剤をスプレーしたり、どのような液体にも**浸したりしないでください**。

1. センサー挿入口を下向きにして測定器を持ち、水に中性洗剤を溶かした弱い洗浄液で柔らかい布を濡らし、測定器の外面を拭きます

測定器を拭く前に、布をしっかり絞ってください。

2. 清潔で柔らかい布で拭き取り乾かします

測定器の消毒

測定器は定期的に消毒する必要があります。消毒する前に、測定器のお手入れを行います。消毒には家庭用漂白剤 5.5%の次亜塩素酸ナトリウムを有効成分として含有する製品を使用します。* 家庭用漂白剤と水が1対9の割合の溶液を用意します。

*漂白剤の取り扱いと保管については、製造元の取扱説明書に従ってください。

1. センサー挿入口を下向きにして測定器を持ちます

この溶液で濡らした柔らかい布で測定器の外側を拭き、表面を湿らせます。測定器を拭く前に、布をしっかり絞ってください。

2. 拭き取った後、消毒面を漂白剤で濡らした柔らかい布で1分間覆います

清潔で濡れた柔らかい布で拭き取ります。

測定器を取り扱った後は、石鹸と水で手をよく洗ってください。

摩耗の徴候が見られる場合は、ワンタッチコールセンターにご連絡ください。ワンタッチコールセンターの連絡先情報は、この取扱説明書の最後に記載されています。

病院内での使用環境における3,799回の使用を想定した試験が行われています。本製品を使用する間はこの取扱説明書に従い、適切に保守点検を行ってください。保守点検の際に問題が生じない限り、本製品を引き続き使用することが可能です。

注:

測定器が動作しない、または併用する製品に不具合が見つかった場合は、ワンタッチコールセンターにご連絡ください。ワンタッチコールセンターの連絡先情報は、この取扱説明書の最後に記載されています。

このページは意図的に空白にされています

電池の交換

ワンタッチベリオリフレクト™は、CR2032リチウム電池2個を使用します。電池1個は測定器にのみ使用され、別の電池はバックライトの電源となります。測定器の電池の交換時期についての情報は、141ページをご覧ください。

測定器の電源が入らない、またはボタンを押しても暗いままのような場合は、電池をご確認ください。

PCと接続しているときは、電池を**交換しないでください。**

⚠**注意：**化学熱傷の危険性があります。電池を**飲み込まないでください。**本製品にはボタン電池が入っています。飲み込むと、ただちに体内の重篤な熱傷の原因となり、死に至る場合があります。電池は、新しいものでも使用済みのものでも、お子様の手に届かない所に保管してください、電池を飲み込んだと思う場合は、ただちに医療機関を受診してください。

重要：測定器にはCR2032リチウム電池だけをご使用ください。充電式の電池を**使用しないでください。**種類の異なる電池や新品でない電池を使用すると、通常回数の測定が行えなくなる場合があります。

⚠**注意：** 電池は内部に含まれる液が漏れる場合があり、測定器への損傷、または電池の通常より早い消耗の原因となります。液漏れしている電池はすぐに交換してください。

1. 古い電池を取り出します

まず、測定器の電源を切ります。電池のカバーを下にスライドさせて取り出します。

プラスチック製のリボンを強く引っ張り上げます。⏻の記号が付いたプラスチック製リボンの方が測定器用の電池で、☼の記号が付いた方はバックライト用の電池です。両方の電池を常に同時に交換するようにしてください。

2. 新しい電池を入れます

「+」側を上向き手前にして、各電池をプラスチック製リボンを敷くようにして電池入れに配置します。

カチッと音がして電池がしっかり固定されるまで各電池を押し込みます。

電池カバーを上にスライドさせて測定器に取り付けます。

電池を交換しても測定器に電源が入らない場合は、電池の「+」側が上向きで、正しく挿入されていることをご確認ください。それでも測定器に電源が入らない場合は、ワンタッチコールセンターにご連絡ください。ワンタッチコールセンターの連絡先情報は、この取扱説明書の最後に記載されています。

3. 測定器の設定を確認します

電池を交換するたびに、日時設定の画面が表示されます。109ページを参照してください。

4. 電池を廃棄します

お住まいの地域の環境規則に準拠して電池を廃棄します。

エラーとその他のメッセージ

ワンタッチベリオリフレクト™は、センサーや測定器に問題が生じた場合、またはあなたの血糖値が600 mg/dLを超えた場合と20 mg/dL未満の場合にメッセージを表示します。不適切な使い方をすると、エラーメッセージを表示することなく、不正確な測定結果を表示する場合があります。

注： 測定器がオンになっているのに、動作しない（フリーズしている）場合は、ワンタッチコールセンターにご連絡ください。ワンタッチコールセンターの連絡先情報は、この取扱説明書の最後に記載されています。

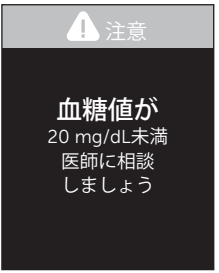
注： 画面上の指示に従っても同じメッセージが継続して表示される場合は、この取扱説明書の対処法を実施するか、ワンタッチコールセンターにご連絡ください。

表示の意味

血糖値が20mg/dL未満になっているおそれがあります。

対処法

ただちに医師の指示に従ってください。まず医師の指示に従い対処し、相談してください。

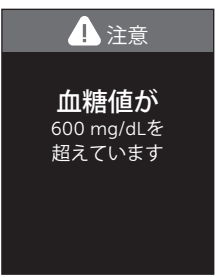


表示の意味

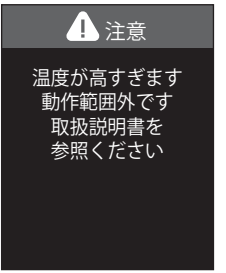
血糖値が600mg/dLより高くなっているおそれがあります。

対処法

ただちに医師の指示に従ってください。まず医師の指示に従い対処し、相談してください。



表示の意味



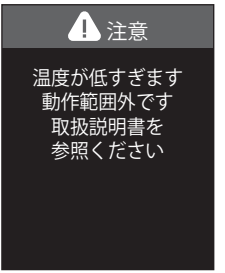
測定器の温度が動作範囲外（44℃を超える）にあるため正常に動作しません。

対処法

動作温度範囲内（6～44℃）の場所に測定器とセンサーを置いて、数分間待ってから、新しいセンサーを挿入してください。このメッセージが再び表示されなければ、測定できます。

このメッセージが継続して表示されるような場合は、ワンタッチコールセンターにご連絡ください。ワンタッチコールセンターの連絡先情報は、この取扱説明書の最後に記載されています。

表示の意味



測定器の温度が動作温度範囲外（6℃未満）にあるので、正常に動作しません。

対処法

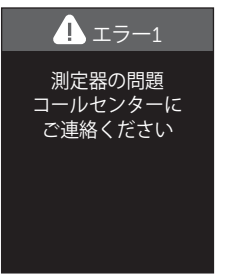
動作温度範囲内（6～44℃）の場所に測定器とセンサーを置いて、数分間待ってから、新しいセンサーを挿入します。このメッセージが再び表示されなければ、測定できます。

このメッセージが継続して表示されるような場合は、ワンタッチコールセンターにご連絡ください。ワンタッチコールセンターの連絡先情報は、この取扱説明書の最後に記載されています。

エラー画面

測定器に問題が生じた場合は、次のエラー画面が表示されます。測定器の問題を解決できない場合は、ワンタッチコールセンターにご連絡ください。測定器情報画面に表示されるエラー番号とサブエラー番号を参照して、問題のトラブルシューティングを行います。測定器情報画面についての詳細は、120ページをご覧ください。

表示の意味

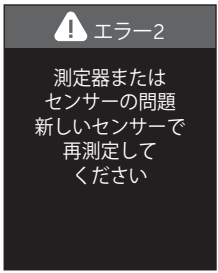


測定器に問題がある可能性があります。

対処法

測定器を**使用しないでください。**ワンタッチコールセンターにご連絡ください。ワンタッチコールセンターの連絡先情報は、この取扱説明書の最後に記載されています。

表示の意味

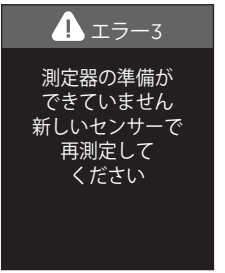


エラーメッセージは、使用済センサーを使用した場合、測定器に挿入する前にセンサーに血液をつけた場合、測定器かセンサーに問題がある場合に表示される可能性があります。

対処法

新しいセンサーで再測定してください。34ページまたは57ページをご覧ください。このメッセージが継続して表示されるような場合は、ワンタッチコールセンターにご連絡ください。ワンタッチコールセンターの連絡先情報は、この取扱説明書の最後に記載されています。

表示の意味

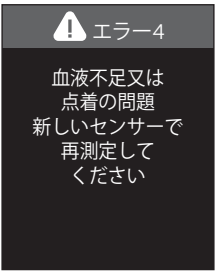


測定器の準備が完了する前に血液またはコントロール溶液が点着された可能性があります。

対処法

新しいセンサーで再測定してください。血液またはコントロール溶液は、『**血液をつける**』または『**コントロール溶液をつける**』画面が表示された後で点着してください。このメッセージが継続して表示されるような場合は、ワンタッチコールセンターにご連絡ください。ワンタッチコールセンターの連絡先情報は、この取扱説明書の最後に記載されています。

表示の意味



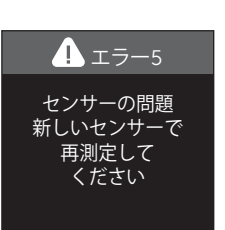
以下のいずれかが考えられます：

- 血液またはコントロール溶液が不十分か、測定器のカウントダウンが始まってからさらに血液またはコントロール溶液を追加した可能性があります。
- センサーに問題がある、または測定中にセンサーを動かした可能性があります。
- 血液またはコントロール溶液のつけ方（点着方法）が正しくなかった可能性があります。
- 測定器に問題がある可能性があります。

対処法

新しいセンサーで再測定してください。
34ページまたは57ページをご覧ください。
エラーメッセージが再び表示された場合は、ワンタッチコールセンターにご連絡ください。ワンタッチコールセンターの連絡先情報は、この取扱説明書の最後に記載されています。

表示の意味



測定器がセンサーに問題があることを検出しました。センサーの損傷が考えられます。

対処法

新しいセンサーで再測定してください。34ページまたは57ページをご覧ください。エラーメッセージが再び表示された場合は、ワンタッチコールセンターにご連絡ください。ワンタッチコールセンターの連絡先情報は、この取扱説明書の最後に記載されています。

注意：

測定範囲を超える測定結果の場合、『**血糖値が600mg/dLを超えています**』または『**血糖値が20mg/dL未満 医師に相談しましょう**』というメッセージが表示されます。

稀なケースですがおおよそ1500 mg/dLを上回った場合または7mg/dLを下回った場合に、『エラー5』のメッセージが表示される可能性があります。このメッセージが表示された場合には、測定器もしくはセンサーの問題によるエラーであるか、高値または低値のためのエラーであるか判別できないため、注意してください。おおよそ1500 mg/dLを超える高い血糖値または7mg/dL未満の低い血糖値が疑われ、『エラー5』が表示されたときは、ただちに医師の指示に従ってください。なお、『エラー5』が表示された場合は、この測定結果は測定器に保存されません。

表示の意味

電池残量が低下していますが、測定は可能です。正確な測定結果が得られます。電池残量少アイコン(🔋)の点滅は、電池が交換されるまで続きます。

対処法

㊎を押すと続行できますが、できるだけ早く電池を交換してください。

表示の意味

電池残量が不足しているため、測定できません。

対処法

電池をすぐに交換してください。

測定器の測定結果と検査室の検査結果との比較

ワンタッチベリオリフレクト™から得られた測定結果と検査室の検査結果は、血漿グルコース濃度に換算した単位で表示されます。ただし、測定器の測定結果と検査室の検査結果には、様々な要因により差が生じることがあります。ワンタッチベリオリフレクト™の測定結果は、グルコース濃度が100 mg/dL未満で、検査室での測定方法の±15 mg/dL以内、グルコース濃度が100 mg/dL以上で、検査室での測定方法の±15%以内である場合、正確であるとみなされます。

検査室の測定結果に影響しない測定要因であっても、測定器の測定結果に影響を及ぼすことがあり、それが±15%以上の差を生じることがあります。測定器に表示される結果と検査室の測定結果の間に±15%以上の差を生じる可能性がある測定要因としては以下のものが含まれます。

- 食直後に指先で測定した測定結果は、静脈血を使った検査室の測定結果と比較して、最大で70mg/dL高くなる可能性があります。[1]
- ヘマトクリット値（血液に占める赤血球の容積を示すパーセンテージ）が60%を超える場合、または20%未満である場合。
- 重度の脱水症状を起こしている場合。

ワンタッチベリオ®センサーの添付文書も併せて参照してください。

[1]Sacks, D.B. :"Carbohydrates."Burtis, C.A., and Ashwood E.R.(ed.), *Tietz Textbook of Clinical Chemistry*, Philadelphia:W.B.Saunders Company (1994), 959.

測定器の測定結果と検査室の測定結果を正しく比較するための重要な注意事項

検査室比較用の測定器での測定を行う前に：

- コントロールテストを行い、測定器が正しく機能することを確認してください。
- 検査室比較用に測定器で血液を測定する時間の最低8時間前から、**何も食べないようにしてください。**
- 測定器と関連する製品を病院にお持ちください。

検査室でワンタッチベリオリフレクト™の測定を行います：

- 検査室での検査から15分以内に測定器で測定してください。
- 必ず指先から採取した新鮮な毛細管血を使用してください。
- 測定器で血糖測定を行うときには、本書の記載事項に従ってください。

お使いの測定器の測定結果と別の測定器の測定結果との比較

この測定器で得られた血糖測定値と、異なる測定器から得られた測定値との比較は推奨していません。測定器によって測定値が異なる場合があり、お使いの測定器が適正に動作しているかどうかを適切に確認するための有効な手段ではありません。

技術仕様

測定方法	FAD-GDH (フラビンアデニンジヌクレオチド - グルコースデヒドロゲナーゼ)
自動切電機能	前の操作から2分後
電池定格	2 x 3.0 V 直流 (2xCR2032電池)、⎓15 mA
電池種類	2 x 交換可能な 3.0V CR 2032 リチウム電池 (または同等品)
BLUETOOTH®技術	周波数範囲：2.4～2.4835 GHz 最大出力：0.4 mW 動作保証範囲：8m (障害物がないこと) 稼動チャンネル：40 チャンネル セキュリティ暗号化：128 ビット AES (高度暗号化規格)
換算	血漿グルコース濃度に換算した値で表示

データポート種類	マイクロUSB 2.0に対応
メモリ機能	750件
動作範囲	6～44℃ 相対湿度：10～90%、結露無し 高度：3048メートルまで ヘマトクリット値：20～60%
報告された測定結果の範囲	20～600 mg/dL
血液	新鮮な毛細管全血 静脈全血
血液の量	0.4 µL
寸法	43.0(横) x 101.0(縦) x 15.6(高さ) mm
測定時間	約5秒
測定単位	mg/dL
重量	約53 g

保証

LifeScanはワンタッチベリオリフレクト™が、材料および製造上欠陥がないことをご購入日から3年間保証します。本保証は当初購入者に限り有効で、譲渡できません。測定器が動作しない、または任意の部品に不具合が見つかった場合は、ワンタッチコールセンターにご連絡ください。ワンタッチコールセンターの連絡先情報は、この取扱説明書の最後に記載されています。

保証書

ご購入後、万一ワンタッチベリオリフレクト™（測定器）に故障が生じた場合、3年間に限り無償で製品の交換をさせていただきます。ただし、次のような場合は保証期間内であっても有償となります。

1. 使用上の誤り、不当な修理により生じた故障、破損。

2. 火災、地震などの天災・地変による故障、損傷。

3. ご購入後の移動、輸送などによる故障、損傷。

4. その他当社の責によらない故障、損傷。

製品名	ワンタッチベリオリフレクト™
シリアル番号	
保証期間	ご購入日またはご入手日 年　月　日より3年間
ご氏名	
ご住所	
販売店名 または 入手先	病院名／店名・電話 (　)

*この保証は、日本国内においてのみ有効です。

製造販売元：
LifeScan Japan株式会社
東京都中央区日本橋室町三丁目4-4
OVOL日本橋ビル2F
お問い合わせ先：
ワンタッチコールセンター
0120-113-903 (24時間365日受付)

電気および安全規格

本測定器は、CISPR 11:クラスB（放射のみ）に適合します。本製品で使用される放出エネルギーは低レベルであり、周囲の電子機器の干渉発生原因となる可能性はほとんどありません。本製品は、IEC 61326-2-6に規定されている、静電気放電に対する耐性について試験済みです。本製品は、IEC 61326-1および61326-2-6に規定されている、無線周波数干渉に対する耐性に準拠しています。

本製品は、国際規格EN 60601-1-2:2014に規定されている、周波数範囲と測定レベルの電気的干渉への耐性要件を満たしています。

エアゾールスプレーが使用された場所や酸素が投与された場所では、本装置を**使用しないでください。**

このページは意図的に空白にされています

13 索引

90日トレンド.....29, 93
90日平均の目標.....111
AST.....39
BLUETOOTH®.....16, 18, 96, 102
Bluetoothキー.....101
ColorSure®ダイナミック血糖値指標.....29, 48, 50, 114
mg/dL.....25, 147
アイコン.....4, 8
異常な赤血球数 (ヘマトクリット値).....143, 147
イベントマークを付ける.....66
絵文字.....118
エラーメッセージ.....132, 133
温度.....34, 35, 64, 122, 134, 135, 147
画面の確認.....30
カラーバー.....29, 48
感染率を低減.....40
記号.....4, 8
技術仕様.....146
キットコンポーネント.....20
機能.....117, 118
許容範囲外の測定結果.....52, 54
血漿への換算.....142, 146
血糖測定サポーターからのメッセージ.....27, 72

血糖測定器のお手入れ.....123
『血糖値が20mg/dL未満』のメッセージ.....52, 133
『血糖値が600mg/dLを超えています』
のメッセージ.....53, 133
血糖値指標アイコン..... 4, 7, 25, 32, 48, 50, 68, 92, 108, 111, 117, 118
血糖値高め.....53, 133
血糖値低め.....52, 133
言語.....110
コントロール溶液.....57
コントロール溶液、測定.....55, 61, 64
コントロール溶液の処分日と使用期限.....56
採血手順.....42
サブエラー番号.....120
時刻設定.....109
システムの保管.....122
使用済みのランセット（針）とセンサーの廃棄.....55
食後マーク.....66
食後目標範囲値.....111, 114
食事マークを付ける.....66
食前後の目標範囲値.....113
食前マーク.....66
食前目標範囲値.....111, 114

シリアル番号 120
設定 108, 109, 110, 111, 116, 117, 118, 119
設定メニュー 109
センサー 26, 41, 57
センサー、銀色のコンタクトバー 26
センサー、血液をつける 44
センサーの廃棄と使用期限 36
穿刺器具 23, 123
測定器の消毒 125
測定器の測定結果と検査室の検査結果との比較 142
測定器の電源を入れる 30, 41, 57
測定器の電源を切る 33
測定器のボタン 25
測定結果のコンピュータへのダウンロード 105
測定原理 11
測定単位 25, 147
測定手順 34
ソフトウェア、糖尿病管理 105
ソフトウェアバージョン 120
脱水症状 52, 143
データポート 25

電池、交換.....128
電池残量少アイコン.....7, 141
同期.....102
パターン.....73, 74
パターンのメッセージ.....27, 72, 73, 119
ふりかえり.....84, 90
ペアリング.....98, 100
ベーシックモード.....32, 116
ベーシックモード用の目標範囲値.....116
保証.....148
本製品の使用目的.....10
毎日の測定目標設定.....117
メダル.....27, 72, 83, 119
メッセージ.....73, 119
目標測定回数.....29, 48, 117
目標範囲値.....111
役立つヒント.....27, 72, 80, 119
『ようこそ』画面.....30

メモ

製品は、以下の1つ以上のアメリカ合衆国特許により保護されています：6,890,421、8,163,162、7,749,371、8,449,740、8,529,751 および 8,617,370。このデバイスの購入は、これらの特許の使用ライセンスを付与するものではありません。このようなライセンスは、ワンタッチベリオ®センサーとともに使用される場合に限り付与されます。LifeScan, Inc. 以外のセンサー供給業者には、このようなライセンスを付与する権限がありません。LifeScan以外の業者によって製造されたセンサーを使用してLifeScan血糖測定器で生成された測定結果の精度は、LifeScanによって評価されたものではありません。

ワンタッチコールセンター0120-113-903（24時間365日受付）
にお問い合わせください。

販売名：ワンタッチベリオリフレクト（認証番号：301AABZX00067000）
販売名：ワンタッチベリオセンサー（承認番号：22400AMX01423000）

製造販売元：
LifeScan Japan株式会社
東京都中央区日本橋室町三丁目4-4
OVOL日本橋ビル2F

製造業者：
LIFESCAN SCOTLAND LTD
Beechwood Park North, Inverness IV2 3ED
United Kingdom

Lifescan™

AW 07199201B

OneTouch®
AW 07199201B
© 2018-2020 LifeScan IP Holdings, LLC
© LFS KK 2018
改訂日：2020/02